



Press Release 報道資料

2016年10月28日
在日米国商工会議所

在日米国商工会議所（ACCJ） 「2016 ウィメン・イン・ビジネス・サミット」を開催 女性の活躍を推進する組織変革の重要性を強調

在日米国商工会議所（ACCJ）は昨日、社会における女性の活躍推進に注力する政府やビジネス界、教育界のリーダーたちが一同に会する第4回「ウィメン・イン・ビジネス・サミット」を開催しました。今回は、約30名の講演者やパネリストが、民間企業や公的機関で働く女性の活躍推進を後押しする前向きな変革を起こすために必要な具体策について議論しました。

今年のウィメン・イン・ビジネス・サミットでは、女性の活躍を推進する職場環境を実現するための組織文化の変革に焦点が当てられました。また、本サミットの分科会やワークショップでは、女性のさらなる社会進出やビジネスでの成功をサポートする実践的な提言やグローバル・ベストプラクティスなどを紹介するとともに、民間企業や政府、そして教育界との継続的な対話の重要性について意見が交わされました。

今回のサミットについて ACCJ のクリストファー・ラフルアー会頭は次のように述べています。
「今年のウィメン・イン・ビジネス・サミットシリーズ最後に開催される東京でのサミットは、女性の職場での地位向上を促すために政府やビジネス界、そして社会全体と対話を継続していく姿勢やコミットメントを示すものです。女性リーダーシップの役割や男女共同参画の重要性に関する本日の議論が、より健全でかつ力強い日本経済を促進する、インクルーシブで多様な職場環境の実現に寄与することを願っています。ACCJ は、引き続き、日本政府やビジネス界と協力して、日本が直面する特定の課題やニーズに合った問題解決につながる政策提言を提供して参ります」

本サミットに関する詳細は以下のサイトをご覧ください。

<https://www.accjwibsummit.com/>

###

1612 J

—在日米国商工会議所について—

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外国経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

本件に関するお問い合わせ先：

在日米国商工会議所 渉外室

電話：03-3433-6542

Email：external@accj.or.jp

The American Chamber of Commerce in Japan
Masonic 39 MT Bldg. 10F, 2-4-5 Azabudai, Minato-ku, Tokyo 106-0041
在日米国商工会議所 〒106-0041 東京都港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MTビル 10階
Tel: 03-3433-5381 Fax: 03-3433-8454 Web: www.accj.or.jp